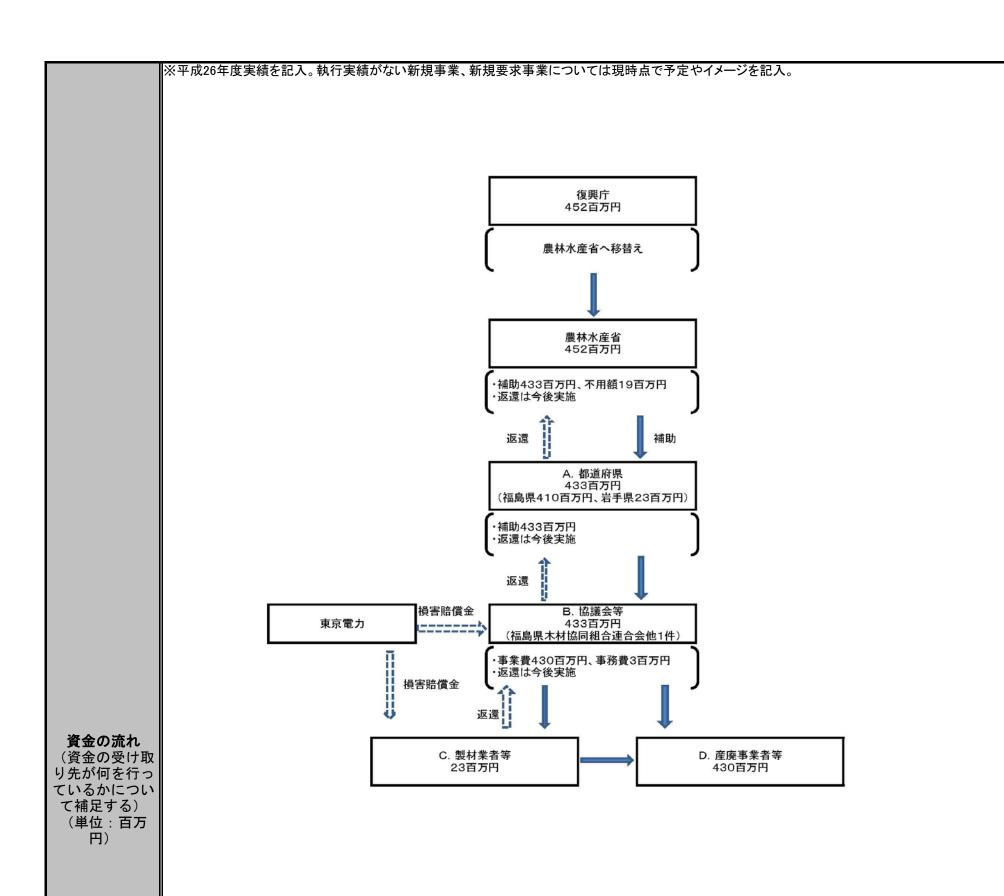
事業番号

0162

	平成27年度行政事業レビューシート(復興庁)																
	事業名	放射性	物質被害材	林産物処理支援	事業		担当部局庁		復興	復興庁				作成責任者			
事	業開始年度	平原	戈25年度		終了)年度	平成29:	年度	担当	課室	統括	官付参事	官(-	予算•会計担	当)参	事官	小瀬	達之
垒	会計区分	東日本	本大震災征	复興特別会討	ł			政策・	近・施策名 施策:東日本大震災からの復興に係る施策の推進								
(.	艮拠法令 具体的な 項も記載)	_				関係する通知		_									
主要	政策∙施策		温暖化対策	-				主要経費 その他の事項経費									
(目	業の目的 指す姿を簡 。3行程度以 内)	の大き															
事業概要 (5行程度以内。 別添可)		置、一	地域林産物の流通安定化を図るため、製材工場等に滞留する樹皮(バーク)、ほだ木等の放射性物質被害林産物の処理対策として、樹皮の圧縮機の設置、一時保管費用、廃棄物処理施設での焼却及び運搬費用等、製材工場等が負担する経費を一時的に支援する(定額)。 なお、当該事業は東京電力からの損害賠償が認められた経費を対象としており、東京電力から賠償金の支払いがあった後に国庫へ返還することとする。														
3	尾施方法	補助															
		_			2	24年度		25年度			26年度		27年			28年度	
				切予算 		_		452			452		422	2		42:	2
		文	補正予算 予算 前年度から繰越し			-							_				
7	5算額・	予算 の状 況	の状況を度る場地し		-					_							
	執行額 位:百万円)		光 一 予備費等					_									
			計		0			452			452		422		422		 2
		執行額		- 1			292			433							
		執行率 (%)			-			65%			96%						
					公田 比梅				** / .		0.4左连		25/5/#	00年	<u> </u>	目標	最終年度
成果	目標及び成	定量的な成果目標 事業実施県の製材工場に おける丸太取扱量		成果指標事業実施県の製材工場における丸太取扱量の増加率				単位		24年度		25年度	26年		29	9 年度	
:	サスター						成果実績	%		-		117	121				
	·)[\DA					増加	目標値			_		_	_			145	
							達成度	%		-		81%	839	6			
	指標及び活	 			1指標 			単位		24年度		25年度	26年	度	27年月	度活動見込	
	動実績 ウトプット)						活動実績	t		-		94,000	123,0	00			
		県)				_	当初見込み	t	_	_		60,000	108,0	00	10	08,000	
		算出植			根拠			単位		24年度		25年度	26年	度	27年	丰度見込	
単	位当たり							単位当たりコスト	百万円		-		22	29			28
コスト		執行額/活動実績のうち当該事業による樹皮(バー ク)処理量(千t)				計算式	執行額/実 績(千t)			292	百万円/13千t	433百万円/	15千t	422百万	円/15千t		
平成	費	目		27年度当初	予算	28年度要求						主な	増減理由				
2 7	放射性物質 理支援事業		木産物処	422		422											
:百万四																	
万度					+												
) 算					+												
内 訳																	
単		計	計 422		422												

		事業所管部局による点検・	∙改善	
		項 目	評価	評価に関する説明
費	事業の目的	りは国民や社会のニーズを的確に反映しているか。 	0	事業実施県の要望も強く、製材工場等の事業活動の安定化のため、優先度の高い事業である。
工人				福島復興再生基本方針において、国は樹皮等の処分を 推進することとしている。
	政策目的 <i>の</i> 事業か。)達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い	0	同上
		経保されているなど支出先の選定は妥当か。	0	事業実施要望に基づき支出先を選定している。
+		負担関係は妥当であるか。	0	定額補助である。 廃棄物処理費用の上昇に伴い単位当たりコストが上昇し
莱	単位当たり	コスト等の水準は妥当か。	0	た。
交別		ルの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	0	事務費以外は全て廃棄物処理等への支出である。
		が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 なきい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	0	同上 執行率は96%である。
				製材工場等と廃棄物処理業者との間で単価交渉をしてい
	その他コス	ト削減や効率化に向けた工夫は行われているか	0	る。
	成果実績は	は成果目標に見合ったものとなっているか	0	丸太の取扱量は増加している。
有効		当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果 低コストで実施できているか。	0	東京電力に対する損害賠償請求は、各製材工場等が個別に行っており、処理コスト、請求時期は区々であることから、効率的な事業実施には、県を経由した今の手段が 最善である。
性		は見込みに見合ったものであるか。	0	見込み以上の実績となっている。
		施設や成果物は十分に活用されているか。 業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役	-	
関		未がめる場合、他的局で他的有等と適切な反割力担を行うているが。(反 体的な内容を各事業の右に記載)		
連事		所管府省•部局名 事業番号 事業名		-
業				-
改善善		とから、製材工場等の事業活動の安定化のため、事業実施県の要望も引事業により復興支援、林産物の流通を推進することとしたい。		としての木材製品等の安定的生産、供給に影響を及ぼすこ 度の高い事業である。引き続き関係者と連携しながら、本
改善結果	改善の 方向性	とから、製材工場等の事業活動の安定化のため、事業実施県の要望も引		
改善結果		とから、製材工場等の事業活動の安定化のため、事業実施県の要望も引事業により復興支援、林産物の流通を推進することとしたい。	強く、優先	を 度の 高い 事業である。 引き続き関係者と連携しながら、本
改善結果	方向性	とから、製材工場等の事業活動の安定化のため、事業実施県の要望も引事業により復興支援、林産物の流通を推進することとしたい。	強く、優先	を 度の 高い 事業である。 引き続き関係者と連携しながら、本
改善結果 点	对象外 現状	とから、製材工場等の事業活動の安定化のため、事業実施県の要望も引事業により復興支援、林産物の流通を推進することとしたい。	強く、優先 ふの所見	走度の高い事業である。引き続き関係者と連携しながら、本
改善結果	対象外	とから、製材工場等の事業活動の安定化のため、事業実施県の要望も引事業により復興支援、林産物の流通を推進することとしたい。	強く、優先 かとした 名	復興に資する必要性の高い事業である。引き続き効率性に
改 善結果	カタ 現状通り	とから、製材工場等の事業活動の安定化のため、事業実施県の要望も引事業により復興支援、林産物の流通を推進することとしたい。	強く、優先 かとした 名	復興に資する必要性の高い事業である。引き続き効率性に
改善結果	現状通り 現状 通り 現状 通り 現状 通り 現状 通り	とから、製材工場等の事業活動の安定化のため、事業実施県の要望も引事業により復興支援、林産物の流通を推進することとしたい。	強く、優先 かとした 名	を 関係者と連携しながら、本 関係 関係 である。引き続き効率性に
改善結果	現状通り 現状通り 現	とから、製材工場等の事業活動の安定化のため、事業実施県の要望も引事業により復興支援、林産物の流通を推進することとしたい。	強く、優先 かとした 名	を 関係者と連携しながら、本 関係 関係 である。引き続き効率性に
改善結果	現状通り 現状通り 現	とから、製材工場等の事業活動の安定化のため、事業実施県の要望も引事業により復興支援、林産物の流通を推進することとしたい。	強く、優先 かとした 名	復興に資する必要性の高い事業である。引き続き効率性に
改善結果	現状通り 現状通り 現	とから、製材工場等の事業活動の安定化のため、事業実施県の要望も予事業により復興支援、林産物の流通を推進することとしたい。	強く、優先 か 所見 か とした名	度興に資する必要性の高い事業である。引き続き効率性に
改善結果	現状通り 現状通り 現	とから、製材工場等の事業活動の安定化のため、事業実施県の要望も引事業により復興支援、林産物の流通を推進することとしたい。	強く、優先 か 所見 か とした名	度興に資する必要性の高い事業である。引き続き効率性に



		A.都道府県(福島県)			E.	
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	廃棄物処理費	福島県木材協同組合連合会へ廃棄物処理 等費用として支出	407			
	事務費	福島県木材協同組合連合会へ廃棄物処理 等に係る事務費として支出	3			
	計		410	 計		0
				н	F.	
	費目	使途	金 額		使 途	金額
		(株)A他3社へ廃棄物処理等費用として支出	(百万円) 407			(百万円)
	事務費	廃棄物処理等に係る事務費	3			
	子勿及					
費目・使途						
(「資金の流れ」においてブロックご						
とに最大の金額 が支出されている						
者について記載						
する。費目と使途の双方で実情が分かるように記						
載)						
	計		410	計		0
		C.製材業者等			G.	
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	廃棄物処理費	(株)D他1社へ廃棄物処理等費用として支出	12			
	計		12			0
	н	D.産廃事業者等		н	H.	
	費 目	使途	金額(百万円)		使 途	金額(百万円)
	廃棄物処理費		(自万円) 197		2 ~	(白力円)
	計		197	計		0

支出先上位10者リスト

_		• • • •	_	. —
	74	道	74	ΙВ
\mathbf{A}	AII.	פרנ	MVI	1

支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1 福島県	福島県木材協同組合連合会へ廃棄物処理等費用として支出	410	_	_
2 岩手県	岩手県チップ協同組合へ廃棄物処理等費用として支出	23	_	_

B. 協議会等

	133 HX 24 13				
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	福島県木材協同組合連合会	(株)A他3社へ廃棄物処理等費用として支出	410	-	_
2	岩手県チップ協同組合	G(株)へ廃棄物処理等費用として支出	23	_	_

C. 製材業者等

	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	G(株)	(株)D他1社へ廃棄物処理等費用として支出	23	_	_

D. 産廃事業者等

	· 性优于术位于					
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率	
1	A(株)	廃棄物処理費	197	_	_	
2	B(株)	廃棄物処理費	104	_	_	
3	C(株)	堆肥化のためのバーク破砕処理費	97	_	-	
4	(株)D	廃棄物処理費	12	_	-	
5	(有)E	運搬費	11	_	_	
6	(株)F	運搬費	9	_	_	
	<u> </u>				<u> </u>	